

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			11月14日	11月17日	11月18日	11月19日	11月21日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.6020	2.6090	2.5830	2.5710	2.5160	-0.0550
	USD/YEN	Spot	116.27	116.48	116.91	117.93	117.76	-0.1700
	EUR/USD	Spot	1.2524	1.2452	1.2535	1.2538	1.2388	-0.0150
	BRL/YEN	Spot	44.69	44.65	45.26	45.86	46.81	+0.9500
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1.87	2.18	1.96	1.79	1.65	-0.1410
		1Year(p.a.)	2.44	2.71	2.54	2.32	2.11	-0.2080
	Real Interest	6MTH(p.a.)	12.03	12.04	12.03	11.98	11.95	-0.0382
		1Year(p.a.)	12.46	12.49	12.44	12.40	12.26	-0.1384
Stock	Bovespa		51,772	51,257	52,062	53,403	56,084	+2,681.23
Bond	CDS Brazil 5y		185.00	187.00	188.00	185.00	173.00	-12.0000
	Global 40		107.950	107.650	107.600	107.650	107.350	-0.3000

* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	コメント
なし				なし

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はU\$1=R\$2.6030で寄り付いた。
- 週初のレアルは寄り付き後、売りが優勢となり直ぐさま週間安値となるU\$1=R\$2.6180を付けた。しかし直後にニューヨーク地区の製造業景況指数などの米経済指標がエコノミスト予想を下回る結果となったことからドル売りが見られるとレアルは2.58台前半まで急反発した。
- 翌18日には米PPIなどが予想を上回ったことから一時的にドル買いが見られた後、ルセフ大統領の新政権の次期財務相を巡って市場ではもうすぐ決まるとの期待感のほか、海外でのリスク資産買いの動きが強まるとレアルは2.58台前半まで値を戻した。
- 週央にかけては再びルセフ大統領の新政権の次期財務相を巡って市場の期待が高まったほか、米FOMC議事録が発表され多くの政策当局者は国民のインフレ期待低下の兆候に警戒すべきだと認識を示したことから早期利上げの可能性が弱まり、ドルは下落、レアルは2.5660まで買い進まれた。
- サンパウロ州の祝日を挟んだ21日にはルセフ大統領が次期財務相の任命を行うことが近いほか、現地大手銀行のアセットマネジメントの役員である可能性が高く、市場では大きく好感され、レアルは週間高値となるU\$1=R\$2.5100を付け、結局U\$1=R\$2.5160で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
11-24	FGV CPI IPC-S	Nov-23	0.51%	0.50%
11-24	経常収支	Oct	-\$7500M	-\$7907M
11-24	海外直接投資	Oct	\$4100M	\$4214M
11-24	貿易収支(週次)	Nov-23	--	-\$804M
11-24	税率	Oct	104450M	90722M
11-25	FGV建設コスト(前月比)	Nov	0.2%	0.2%
11-25	FGV消費者信頼感	Nov	--	10150.0%
11-26	ローン残高(前月比)	Oct	--	1.3%
11-26	融資残高	Oct	--	2901B
11-26	個人ローン・デフォルト率	Oct	--	6.6%
11-27	FIPE CPI-週次	Nov-22	0.62%	0.53%
11-27	FGVインフレGPM(前月比)	Nov	0.93%	0.28%
11-27	FGVインフレGPM(前年比)	Nov	3.60%	2.96%
11-27	PPI 製造業(前月比)	Oct	--	0.94%
11-27	PPI 製造業(前年比)	Oct	--	2.87%
11-27	中央政府財政収支	Oct	7.2B	-20.4B
11-28	GDP(前期比)	3Q	0.20%	-0.60%
11-28	GDP(前年比)	3Q	-0.10%	-0.90%
11-28	GDP(4四半期累計)	3Q	0.80%	1.40%
11-28	純債務対GDP比	Oct	36.10%	35.90%
11-28	基礎的財政収支	Oct	4.5B	-25.5B

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.50-2.70

今週はサンパウロを中心にいくつかの州で祝日を迎え、比較的流動性の低い展開となり、値動きの少ない日が多く見られた。しかし相場を動かす要因が多く見られ、米経済指標やFOMC議事録の内容から米早期利上げが少し遠ざかったように市場では読み取られたほか、ブラジル国内では次期財務相の任命を巡って市場は前向きな姿勢を示したことから総合的に見るとリアル買い一色となり、リアルは11月初旬の水準まで回復した。今朝の報道によると大手銀行のCEOが正式にルセフ大統領の招待を拒否したことでの市場が嫌気するかと思われたが、逆にマーケットの人材を取り入れようとするルセフ大統領の姿勢が好感された。相場はリアル買いで始まり、間もなく財務相として新たな名前が報道された。次期財務相として有力候補と報道されたレヴィ氏は大手銀行のアセットマネジメント会社の役員であり、過去にパロッシ氏が財務相を務めた時期に財務長官としてルーラ政権の最初の数ヶ月の財務調整を実行した経歴があるなど経験が豊富である。金融業界からの名前が決まりそうなことから市場では大きく好感され、リアル安トレンドは一旦弱まっているが、財政面での課題は引き続き多く、レヴィ氏がどのような政策を行うかに市場の注目は移り、リアル相場の行方もその政策に大きく影響されるだろう。来週は国内ではGDP成長率等の重要な経済指標が多く発表されるほか、海外でも米GDPの発表を控えているため、リアル相場のボラティリティは引き続き高いことが予想される。